



— 市内の食、特産品、花が大集合 —

宇城市観光物産フェアUki☆Kirariを開催

3/25・26 飲食・物品の販売や特産品のPRなど地域経済の活性化のため、イオンモール宇城で同フェアを初開催。市内飲食店などの出店や花のオブジェ展示、寄せ植えコンテストを実施し、約2万人の来場者でにぎわいました。寄せ

① カラフルなカスミソウで作るコノシロ部長のモザイクアート ② 雨模様の中楽しむ来場者 ③ コノシロ部長とハイタッチ ④ 熱心に特産品をPR ⑤ 寄せ植えコンテストで投票する作品を選ぶ参加者

寄せコンテストで投票に参加した田中恵子さんと岡田早苗さんは「趣味で寄せ植えをしているので、コンテストの作品を参考にしたい。コロナでイベントがなかったので、出掛けられる楽しみができてうれしい。」と話していました。



閉院式後、職員全体で集合写真を撮影

— 宇城市民病院が閉院 —
地域医療の思いを託す

3/31 昭和28年の開設以来、地域に根差した医療サービスを提供してきた宇城市民病院が閉院。同病院の大町秀樹院長は「長く多くの人に愛された病院だと感じている。」とあいさつしました。今後は、(医)黎明会に外来診療の機能を継承し、同法人が市民病院の建物で「宇城総合クリニック」を新たに開設します。



移管式で財産目録を受け取る本村理事長(左)

— 豊野保育園移管式 豊野町学童保育所落成式 —
子どもたちの未来をつなぐ

3/30 豊野保育園の移管式、豊野町学童保育所の落成式がありました。両施設は、4月1日から(福)千隆福祉会が運営を開始。移管式で同法人の本村憲裕理事長が「子どもたち一人一人を大切に、自主性を育てる保育に取り組みます。町の歴史・文化・伝統を継承し、地域の人たちと一緒に子どもを育てていきたい。」と述べました。

市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



ま ち の わ だ い
TOPICS



思いを込めたタスキをつなぐ

— 第1回宇城市駅伝大会が開催 —
8区間19.1キロのコースを疾走

3/12 三角町戸馳で市スポーツ協会主催の駅伝大会が開催され、12チームが参加しました。同協会の岡本泰章会長は「本大会を通じてジュニア層の育成と陸上競技の普及を図りたい。」とあいさつ。当日は天候にも恵まれ、コース沿道に集まったたくさんの市民の応援が大会を盛り上げました。



訪問した新谷元代表取締役社長(左)と当尾小志水校長

— 当尾小学校へホワイトボードを寄贈 —
地域への恩返しで社会貢献

3/7 松橋町の㈱九州エフ・シー・シーが当尾小学校へホワイトボード4台を寄贈しました。これまでも市内の支援学校へ学習用資材を寄贈するなどさまざまな社会貢献活動に取り組んできた同社。志水英子校長は「今回寄贈いただいたことで、全クラスにホワイトボードを設置でき、大変ありがたいです。」と感謝しました。



協力事業所に認定証を渡す守田市長

— 高齢者等見守りネットワーク協力事業所認定式 —
安心して生活できるまちを目指して

3/28 認知症サポーター養成講座を受講して高齢者の見守りを行う46事業所が参加した同認定式が市役所で開催。守田市長が認定証を交付しました。式後、認知症サポーターステップアップ講座が開催され、県認知症介護指導者の三浦啓介さんが講義。参加者は、真剣に耳を傾けていました。



守田市長に寄付金を渡す丸田組合長と登常務(右2人)

— JA熊本うきが市に寄付金を贈呈 —
宇城彩館の売り上げの一部を寄付

3/13 JA熊本うきの丸田博雄代表理事組合長らが市役所を訪れ、守田憲史市長に寄付金を贈呈しました。丸田組合長は「販売する野菜や果物の新鮮さにこだわり、これからも頑張っていきたい。」と話し、守田市長は「市のPRに貢献いただき感謝しています。さらなる来客を期待しています。」とお礼を述べました。